

2010年(平成22年)9月18日 土曜日

箕面市融資三セク 特定調停申し立て

箕面市の第三セクター「箕面都市開発」(同市箕面6丁目、南富治社長)は17日、市に対し、借入金の返済額軽減などを求める特定調停を大阪地裁に申し立てた。筆頭株主(出資比率68・38%)の市が同日、発表した。

市によると、同社は阪急箕面駅前の再開発ビル「箕面駅前サンプラザ」の管理運営会社として1978年、市と金融機関など12社が出資して設立。80年代から市立箕面駅前駐車場(約550台収容)の管理運営業務を受託し、95年

には市営駐車場を建て替える際の代替地になる可能性があるとして、金融機関から約12億円の融資を受けて同市内の土地約1500平方メートルを民間から購入。2004年に借り換え資金として市から11億1千万円の融資を受けている。

同社は同駐車場の管理業務が主な収入源だったが、市が公募した今年4月以降の管理者に選ばれず、経営が行き詰まった。倉田哲郎市長は「市は融資後の指導監督が不足していた。調停で債権放棄などに依るかどうかは、三セクが破綻した場合の影響の大きさとどのバランスを見て検討したい」と話した。(森嶋俊晴)

2010年(平成22年)9月18日(土曜日)

箕面都市開発、特定調停へ

市3セク 貸付残高9億8000万円

箕面市が68%を出資する第三セクター「箕面都市開発」(南富治社長)が17日、経営悪化のため、同市を相手とした特定調停を地裁に申し立てた。同市は約9億8000万円の貸付残高があり、今後債権放棄などについて両者が協議する。倉田哲郎市長は「長年にわたって市を悩ませてきた課題。抜本的に解決する良い機会ととらえたい」としている。

急箕面駅近くに土地を取得して駐車場を営業していたが、地価の下落で債務超過に。同市が低利融資を行うなどして経営再建に協力してきた。

しかし2009年12月、これまで同社が管理を請け負ってきた市営駐車場の10年度からの指定管理者公募に落選、年間約2億円の売り上げが半減する見込みで、将来的な資金繰りのめどがたらず、特定調停を申し立てたとしている。同社は「特定調停を成立させ、経営改善の努力をして事業を再建したい」としている。

同市によると、同社は1978年に設立、ビル管理や駐車場経営などを行ってきた。95年に金融機関から約12億円の融資を受け、阪